

平成25年度総合計画実施計画事業(先導的事業)実施状況一覧表

(単位:千円)

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
1	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	一関のめぐみブランド化推進事業	一関産農産物のブランド化を推進するため、JAや生産組織等が実施する販売促進活動を支援する。	市	1,823	1,671	一関の「野菜・花き・肉用牛・米」等の農産物の需要拡大と有利販売を促進するため、首都圏での産地PR活動やJA及び生産団体等が実施する販売促進活動の支援などにより、消費者及び市場関係者への宣伝活動に取り組んだ。 1. 市内JAの合同販売促進活動として、首都圏における一関産野菜販売促進フェア(都内3店舗で実施)等を実施。 2. 首都圏において地方自治体等が行う販売促進活動を支援する民間のアンテナショップ・レストラン(東京都中央区日本橋)を活用し、1か月間限定で一関産の食材を使ったコース料理等の提供を行い、消費地での認知度向上に取り組んだ。 3. 全国各地ビールフェスティバルにおいて、料理出店業者に産地PRメニューを開発し提供してもらうための食材として、一関産の「なす」及び「ピーマン」を提供し、来場者に対する果菜類の産地PRを実施。 4. 産地宣伝用の電飾看板広告をJRノ関駅構内に設置。 5. 当市の主力野菜(なす、ピーマン、トマト、きゅうり)を紹介するリーフレットや、これらの調理法を紹介したレシピカードなどを作成し、首都圏などでの販売促進活動や観光客へのPR活動等に活用。	1. 市内2つのJAが合併したことに伴い、新JA(JAいわて平泉)と共に新たなブランド戦略を構築し、強く推進していく必要がある。 2. 従来の消費者をターゲットとした取り組みを継続する一方、市場関係者や大手小売店のバイヤー、報道機関など、大きな影響力を持つと目されるターゲットに対するPR活動を強化する必要がある。 3. 農産物に限らず、当市で生産される加工食品や特産品と合わせた、一体的な売り込み&ブランド化を進めていくため、産品全体の「産地外へ」活動との連携を促進していく必要がある。	農林部
2	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	民有林間伐等促進事業補助金	森林の健全化及び公益的機能の促進を図るため、民有林整備に要する経費の一部を補助する。(事業主体:所有者)	所有者	17,796	10,459	適正な森林資源の造成及び森林の有する公益的機能の増進を図るため、森林組合等が実施した除間伐等の森林整備事業に対し助成した。 花泉 3.69ha 52千円 大東 147.03ha 5,613千円 千厩 55.13ha 1,762千円 東山 13.44ha 480千円 室根 19.43ha 892千円 川崎 3.24ha 215千円 藤沢 37.04ha 1,445千円 合計 279.00ha 10,459千円		農林部
3	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	農地・水保全管理支払交付金事業負担金	県が行う農地・農業用施設等の改良及び長寿命化事業の負担金。(事業主体:県)	県	46,240	49,785	・共同活動分 37組織(一関15、花泉13、川崎2、藤沢7) 35,606,100円/4=8,901,525円 ・復旧活動分 93組織(一関36、花泉25、大東7、千厩15、室根1、川崎3、藤沢6) 163,831,640円/4=40,957,910円	平成26年度から資源向上支払である「共同活動」「施設の長寿命化」(復旧活動)に加え、「農地維持支払」を創設し、「多面的機能支払」として新たな取り組みが始まった。 このことによって法面の草刈り、水路の泥上げ及び農道の敷き砂利といった「基礎的保全活動」への支援が加わり、対象農地も「中山間地域等直接支払」へ拡大されたことから、事業の周知に課題が残っている。	農林部
4	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	農村地域活動支援人材確保推進事業	農村地域活性化モデル地域に「緑のふるさと協力隊」隊員を派遣し、活動を支援する。	市	2,888	2,920	平成23年度は本寺地区、24年度は京津畑地区に、いずれも1名の女性隊員が居住し、地域活動の展開を図った。(農村活性化モデル地域に派遣) また、平成25年度は、1名協力隊を東山町の田河津地区の「紙生里の会」に派遣し、地元に住みながら地域活動や農業体験、紙生里の会の和紙づくりの体験を通して地域の協力活動を展開した。	平成23年度から3年間地球緑化センターより派遣されているが、引き続き市内に定住するまでには、いたっていない状況、定住できるような魅力をどう発信するか、1年経過後の対策が必要。(地域おこし協力隊として募集し、引き続き支援員となってもらう方法はある。)	農林部
5	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	農村地域づくり活動支援員設置事業	3年任期の、総務省制度「地域おこし協力隊」制度を活用し、中長期的な観点から農村地域活性化モデル地域の支援を行う。	市	6,415	5,021	平成25年度採用に向けた募集活動を展開し、2名の地域おこし協力隊員を確保した。(全国合同募集会で一関市のブースを設置し、募集及びPR活動を展開した。) 平成25年度には、農村地域づくり活動支援員として2名を配置し、西地域(一関、花泉地域)は本庁勤務として1名を配置、東地域(大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域)は室根支所産業経済課に勤務し、支援することとして1名を配置し、モデル地域を中心とした支援活動を展開した。	支援員は、モデル地域を中心とした支援活動を実施するが、11のモデル集落を1人に対応することは困難な状況から、25年度から2人の支援員を設置し支援体制をつくっているが、2人体制においても、全域をカバーすることが難しい状況にある。	農林部
6	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	1. 農林水産業	中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域等の農地の適切な維持管理のため、平場との生産条件格差に対する助成を行う。(事業主体:協定集落)	協定集落	1,215,928	1,213,933	・交付対象農用地 82,586,423㎡ ・協定数 304 (集落協定 300 個別協定 4) 一関地域97、花泉地域95、大東地域9、千厩地域28、東山地域22、室根地域21、川崎地域11、藤沢地域21	国の制度として5年ごとに運用されているが、H22~26の第3期対策終了後の、第4期対策の実施が検討中となっているため、既存の取り組み集落への説明が困難となっている。	農林部
7	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	技能・技術等資格取得支援事業	企業ニーズの高い技能・技術(品質管理、技能検定など)の資格取得を支援する研修会の開催するもの。	市	4,454	3,590	1. 品質管理検定、支援講座 ◎H25実績 重点分野雇用創出事業にて(公財)岩手県南技術研究センターへ委託 検定受検者482名 ・H24実績 震災等緊急雇用対応事業にて(財)岩手県南技術研究センターへ委託 検定受検者622名 2. 普通旋盤 ◎H25実績 重点分野雇用創出事業にて(公財)岩手県南技術研究センターへ委託 受講者8名 ・H24実績 (直営):受講者10名 3. 情報収集事務 ◎H25実績 重点分野雇用創出事業にて(公財)岩手県南技術研究センターへ委託 ・H24実績 震災等緊急雇用対応事業にて(財)岩手県南技術研究センターへ委託		商工労働部
8	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	工業振興計画策定・工業振興戦略推進事業	工業振興計画の進捗管理及び実施事業等について意見をいただくため、工業振興戦略会議を開催するもの。	市	127	79	工業振興戦略推進会議の開催 平成25年7月17日、10月22日		商工労働部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
9	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	岩手県南技術研究センター運営費補助金	企業に利用開放する機器の修繕費、岩手県南技術研究センターの維持管理に係る補助。(事業主体:財団法人)	財団法人	28,481	28,481	試験分析機器利用件数 【H25年度実績】856件 (H24年度実績)803件 主な利用企業 ㈱デンジアイズ、㈱富士通ゼネラルエレクトロニクス、一関ヒロセ電機㈱、千住スプリング㈱、プランゼージャパン㈱、ウェーブロックホールディングス㈱、ジオマテック㈱、SWS東日本㈱、三光化成㈱、北上製紙㈱、NECネットワークプロダクツ㈱ほか		商工労働部
10	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	岩手県南技術研究センター機器整備補助金	岩手県南技術研究センターにおいて新たに分析機器等を整備する場合に、その経費の一部を補助するもの。(事業主体:財団法人)	財団法人	10,550	10,498	高速液体クロマトグラフ質量分析装置の整備		商工労働部
11	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	企業の魅力発信力向上事業	企業の情報発信を支援するためのセミナーの開催、ホームページ作成の補助。地域企業が国・県等が主催する展示会・商談会へ出展する際の経費に対する補助。若者の地元定着を図るため、一関高専生徒等を対象とした企業説明会を開催するもの。	市	2,668	1,843	1. 情報発信・IT活用セミナーの開催 【H25年度実績】H26年3月14日開催/9名参加 136千円 ※平成23年度新規事業(「企業の魅力発信力向上事業」により実施) 2. 取引支援促進事業費補助金 【H25年度実績】8回(8社)/1,020千円 ※平成22年度から実施(「取引支援促進事業費補助金」) 3. 企業PRパネル製作費補助金 【H25年度実績】5回(4社)/187千円 ※平成24年度から実施(「企業ピーアールパネル等製作事業補助金」) 4. 地域企業情報ガイダンスの開催 【H25年度実績】H25年10月26日開催/42社出展、302名来場 500千円 ※平成20年度から実施(「地域企業情報ガイダンス開催事業」)		商工労働部
12	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	一関市中小企業振興資金利子補給補助金	一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が利子の一部を補助する。(事業主体:市・企業等)	市・企業等	67,280	43,371	H25年度 新規貸付件数 118件 H25年度末融資残件数/融資残額 652件 / 2,576,274千円		商工労働部
13	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	一関市中小企業振興資金保証料補給補助金	一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が保証料の一部を補助する。(事業主体:市・企業等)	市・企業等	29,962	13,087	H25年度 新規貸付件数 118件 H25年度末融資残件数/融資残額 652件 / 2,576,274千円		商工労働部
14	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	企業立地促進奨励事業費補助金	岩手県企業立地促進奨励事業費補助金を活用し、市内に工場等を設置した企業の設備投資に対し補助するもの。(事業主体:企業等)	企業等	2,128	0	H25年度は、当初補助金の交付を見込んでいた企業が、補助要件に達しないとの理由から事業の取り下げをしたため、執行がなかったもの。 *H18~24年度の実績 H18年度 59,176千円(4社)※増設 H19年度 68,388千円(2社) H20年度 39,698千円(1社) H21年度 0千円(0社) H22年度 17,186千円(1社) H23年度 674,192千円(3社) H24年度 94,272千円(2社)		商工労働部
15	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	2. 工業・中小企業	立地企業操業支援事業費補助金	新規立地企業の操業にあたり、新規採用者に係る人材育成の経費と社員研修費等に対し補助するもの。(事業主体:企業等)	企業等	4,000	1,329	【H25年度実績】 補助対象企業(継続)1社+新規補助対象企業1社=1,329千円 (栗原産業㈱、㈱ティワークス) *H23~24年度の実績 H23年度 1,105千円(2社) H24年度 2,370千円(3社)		商工労働部
16	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	3. 雇用・勤労者	キャリア教育支援事業	若者の人材育成、社会人基礎力の向上のため、キャリア教育に係る支援員を配置するもの。	市	5,880	5,538	H23から市が主体で実施。キャリア教育支援員2名配置。各種キャリア教育支援業務の実施。教育委員会が実施している「中学生の社会体験事業」への支援/ジョブシャドウイングの実施/キャリアサポーターによる模擬面接指導等	様々な職業選択に対応できるよう、キャリアサポーターの増員が課題となっていることから、随時募集を行っている。	商工労働部
17	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	3. 雇用・勤労者	ジョブカフェ一関運営事業	若年者、新規高卒者の就業支援を図るため、ジョブカフェ一関に就職アドバイザーを配置するもの。	市	7,168	6,972	若年者の就業支援のため設置された「ジョブカフェ一関」に、就職アドバイザー3人を配置し、各種就業相談、カウンセリング等を実施。	相談内容が複雑化してきており、対応する側の資質の向上が求められてきている。相談内容により、適切な相談機関等の紹介を行っている。	商工労働部
18	1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり	3. 雇用・勤労者	地域企業パワーアップ支援事業	企業の人材育成手法の向上を目指し、若手社員の就業定着などを図るため、企業経営者、管理・監督者等を対象としたセミナーを開催する。	市	2,208	2,195	【H25年度実績】 人材育成担当者向け 2回開催 受講者数 50名(リーダーシップセミナー、ファシリテーションセミナー) ・新入社員向けセミナー 2回開催 受講者数 50名(社会人としての基本的なマナーとコミュニケーション能力アップ) ・市長と話す「社会人基礎力」講話 1回開催 参加者53名(H24年度実績) ・クリティカル・シンキングセミナー 2回開催 受講者数 46名(参考)(元気な地域づくり事業予算) ・若手社員コミュニケーション能力アップセミナー 1回開催 受講者数25名 ・市長と話す「社会人基礎力」講話 1回開催 参加者30名	・若者の早期離職防止が課題であることから、新入社員向け及び人材育成者となる管理者等を対象としたセミナーを実施しているが、若手社員向けや新入社員の指導・育成に直接携わる企業担当者向けに、定着と育成についてのセミナーが必要である。	商工労働部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
19	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	3. 雇用・勤労者	新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金	新規高卒者の地元就職と職場定着を図るため、新規高卒者を採用した雇用主に研修費用を助成するもの。(事業主体:企業等)	企業等	14,800	10,258	【H25年度実績】 58社 10,258,385円 (H22年度実績) 47社 8,440,897円 (H23年度実績) 56社 10,040,464円 (H24年度実績) 59社 11,230,684円 ※H22～25年度累計実績 39,970,430円		商工労働部
20	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	4. 商業	商店街活性化事業補助金(空き店舗入居支援事業補助金)	市街地商店街の空き店舗へ新たに店舗を開設する際の店舗の内装工事費を補助する。(事業主体:事業者)	事業者	5,000	1,810	一関地域内 3店舗実績 ①ビーグルスタジオ(染・織物販売等) 1,000,000円 ②もぐもぐ(軽食・喫茶) 610,000円 ③M'sH(理美容業) 200,000円	全地域で利用可能としたが、現在は一関地域のみの利用となっている。	商工労働部
21	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	5. 観光	大型観光キャンペーンPR事業	仙台・みやぎDCCに参加し、一関市の観光資源を全国にPRしようとするもの。	市	1,134	366	仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを通じた観光キャンペーン ・駅でのお出迎えイベント ・フラワースタンブラリー、レシートラリーへの参加		商工労働部
22	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	5. 観光	滞在型観光振興事業	世界遺産「平泉」の玄関口として、中東北観光の起点となるよう、周辺地域と一体でのプロモーションの展開や滞在型観光の促進を図る。	市	2,777	2,568	H25 2,567,323円 ①「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」事業 1,791,973円 ・観光写真コンテスト・スタンブラリー・観光パンフレット作成・渋滞対策 ②「イチ、ニのサン」元気な東北発信事業 775,350円 ・3市連携共通パンフレット・親子体験観光モニターツアー		商工労働部
23	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	5. 観光	外国人に対する観光案内事業	一ノ関駅での観光案内を強化するため、外国語(英語・中国語)案内人を配置するもの。	市	4,199	4,199	外国人利用者案内業務 来訪者数:1,226人 問合せ件数:611件		商工労働部
24	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	5. 観光	一ノ関駅構内における観光案内事業	世界遺産「平泉」の玄関口である一ノ関駅の観光案内を強化するため、一ノ関駅構内(新幹線改札口前)に臨時観光案内所を設置するもの。	市	764	764	開所日数 191日 従事延べ人数 191名×4,000円=764,000円 平成20年度 684,000円 平成21年度 324,000円 平成22年度 324,000円 平成23年度 756,000円 平成24年度 764,000円 平成25年度 764,000円)		商工労働部
25	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	5. 観光	観光地間二次交通整備事業	周遊観光の促進を図るため、観光地間(狛鼻溪～平泉)のバスの運行補助、レンタカー利用者への地場産品のプレゼントを行う。	市	4,400	4,322	○狛鼻溪～平泉間バス乗車人員実績 平成20年度 978人、平成21年度 1,740人、平成22年度 1,371人、平成23年度 1,303人、平成24年度 2,292人、平成25年度 1,776人 ○蔽美溪～本寺間バス乗車人員実績、レンタカー利用者実績 平成20年度 60人、平成21年度 58人、平成22年度 177人、平成23年度 35人、平成24年度 52人、平成25年度 42人 ○事業費決算 平成20年度 7,253千円、平成21年度 6,248千円、平成22年度 3,589千円、平成23年度 3,748千円、平成24年度 4,123千円、平成25年度 4,322千円		商工労働部
26	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	市街地活性化センター施設管理事業	一関地域市街地活性化センター「なのはなプラザ」の管理経費。	市	110,753	86,775	■平成25年4月1日 オープン ■入館者数 433,154人 ■平成25年度 施設利用状況 ・おやこ広場 11,129人(1階)、にぎわい創造センター 24,963人(2階) ・一関公民館 132,626人(3階)合 計 68,718人		商工労働部
27	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	歴史の小道整備事業	市街地の回遊、散策、憩いの場として、中街を整備し、安全で安心な居住環境整備を図る。	市	6,953	1,624	・事業実施に係る地元懇談会の開催 ・測量設計業務の委託 1,500千円 ・事務費 124千円 (繰越明許費):5453千円		建設部
28	1. 地域資源を生き育て賑わいと活力あふれるまちづくり	7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用	桜の小道整備事業	磐井川堤防高上げに伴い、道路の付け替えにより生じた残地の取得を含め、整備する。	市	11,634	184	国の堤防事業との係わりから事業を実施することができなかった。 (繰越明許費):5000千円		建設部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
29	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	1. 地域コミュニティ	市民協働推進事業	協働のまちづくりを進めるため、地域課題解決や地域づくり、組織づくりを行う団体等を支援する。(事業主体:市・団体等)	市・団体等	165,965	124,952	1. 地域おこし事業 人材おこしや産業おこしなどで活力ある地域づくりを推進するため、地域や民間が取り組む先導的な事業に対して補助を行った。 (1)地域おこし一般事業 26事業13,038千円 (2)女性が主役の地域おこし事業 5事業1,616千円 (3)若者が主役の地域おこし事業 5事業1,486千円 2. 自治会等活動費総合補助金事業 地域活動の拠点となる集会所の整備や住民が主体的に行う地域づくりを目的とした事業に対し、事業実施に必要な経費の一部を補助した。 (1)一般活動 429事業51,654千円 (2)施設整備 55事業18,192千円(新築1件、増築・改修54件) 3. 地域協働体支援事業 地域住民が主体となる地域協働体が行う事業に対し、事業実施に必要な経費の一部を補助する等の支援を行った。 (1)地域協働体支援事業補助金 4団体530千円 (2)地域協働推進員謝礼10人1,660千円 4. 市民活動推進事業 市民主体の地域づくりを進めるため、市民活動推進事業を委託した。 名称 いちのせき市民活動センター 場所 なのはなプラザ4階 事業 ①市民活動に関する相談業務 ②市民活動に関する情報発信・収集業務 ③市民活動の活動拠点の提供 ④他団体との連携 5. 市民協働支援事業 協働推進会議の開催や事業実践団体などの発表会を行った。 (1)協働推進会議の開催(3回) 第1回6月3日(月) 第2回12月10日(火) 第3回 3月19日(水) (2)地域づくり事業実践発表会 期日・会場1月26日(日)川崎公民館(80人)		市民環境部
30	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	2. 地域福祉	障害者福祉乗車券交付事業	福祉乗車券交付事業:障がい者などの交通弱者に対し、乗車券を交付する。	市	9,600	8,879	重度障がい者の社会参加の促進を図るため、市が委託するバス・タクシー等運行事業所で利用できる福祉乗車券を交付した。 (一人あたり1か月1,000円、12,000円が上限) 《対象者》 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、重度の精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳1級又は精神を事由とした障害年金1級受給者) 《交付者数》 968人 《乗車券利用額》 8,726千円	・重度の障がいを持つ方の生活の利便性を図り、社会活動の参加を促進するために必要な事業である。 ・課題として、中等度の障がい者まで対象者の拡大を要望されていることから、その必要性について検討していく。 ・乗車券の交付方法(案内や交付手続き)について、代行申請が可能であることも周知を図り、対象者が交付が受けやすいよう利便性の向上に今後も努めていく。	保健福祉部
31	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	2. 地域福祉	一関市社会福祉協議会補助金(施設補修補助)	一関市社会福祉協議会が所有する一関市総合福祉センターのエレベーター修理(制御盤交換)工事に要する経費の一部を補助しようとするもの。(事業主体:社会福祉協議会)	社会福祉協議会	1,500	1,500	一関市社会福祉協議会が所有する一関市総合福祉センターのエレベーター修理(制御盤交換)工事に要する費用の一部の補助を行った。 修理工事費:6,090千円 市補助金:1,500千円(6,090千円-3,000千円=3,090千円の約1/2の補助) 社会福祉協議会自己負担金:1,590千円 共同募金施設整備費助成金:3,000千円		保健福祉部
32	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	乳幼児・小学生医療費助成事業	次世代育成支援の充実を図るため、乳幼児・小学生の医療費の自己負担分を助成する。	市	175,209	147,187	従来からの支給対象に加え、平成23年4月から市単独で小学生を対象とした助成を開始した。 (1)乳幼児[就学前児童:市単独で所得制限を撤廃] 月平均対象者数 5,800人(うち市単分805人) 月平均件数 6,291件(うち市単分939件) 助成額 144,099千円(うち市単分53,909千円) (2)小学生[小学校に就学中の児童:市単独事業、所得制限なし] 月平均対象者数 5,414人 月平均件数 3,780件 助成額 93,278千円		市民環境部
33	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	第3子以降保育料無料化事業	第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。	市	17,830	17,758	【H25年度軽減額実績】 679人 97,419,061円 (内訳) 認可保育園 580人 77,032,000円 へき地・児童館 23人 2,475,500円 こども園(幼稚園)2人 154,000円 認可外保育所74人 17,757,561円 (H22年度軽減額実績) 477人 84,319,766円 (内訳) 認可保育園 413人 74,946,000円 へき地・児童館 29人 3,392,500円 認可外保育所 35人 5,981,266円 (H23年度軽減額実績) 535人 87,832,466円 (内訳) 認可保育園 464人 76,923,250円 へき地・児童館 27人 3,055,500円 認可外保育所 44人 7,853,716円 (H24年度軽減額実績) 611人 102,183,764円 (内訳) 認可保育園 535人 88,431,650円 へき地・児童館 25人 2,889,000円 こども園(幼稚園)3人182,000円 認可外保育所48人10,681,114円		保健福祉部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
34	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	私立幼稚園第3子以降保育料等補助金	第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。	市	35,710	32,708	【H25年度実績】 私立(補助金):130人 32,708千円 市立(減免):83人 7,166千円 国庫補助額 3,461千円 (H21年度実績) 私立(補助金):121人 21,573千円 市立(減免):89人 7,737千円 (H22年度実績) 私立(補助金):131人 27,905千円 市立(減免):72人 6,223千円 (H23年度実績) 私立(補助金):127人 29,127千円 市立(減免):68人 5,579千円 (H24年度実績) 私立(補助金):138人 33,819千円 市立(減免):79人 6,960千円 国庫補助額 3,461千円	・私立幼稚園への第3子以降幼児の入園者数の増減のより年度ごとの決算額が増減している。	教育部
35	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	おやこ広場事業	乳幼児とその親が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流する場を提供する。	市	3,900	3,900	乳幼児を持つ親子が気軽に集い、子育てに関する情報交換や交流を通しての仲間づくりを促進し、安心して子育てができる環境づくりに努めた。 (委託先:特定非営利法人いちのせき子育てネット) (1)開設日 毎週月～金 (2)開設時間 午前10時～午後4時 (3)開催回数 252回 (4)利用延べ人数 11,129人		保健福祉部
36	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	障がい児保育事業	法人立保育園に対し、障がい児保育のための保育士を加配するための人件費相当額を委託料に増額する。(事業主体:市・法人)	市・法人	7,274	14,571	重度障がい児 5園 6人 11,411,400円 軽度障がい児 4園 5人 3,160,080円		保健福祉部
37	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	3. 子育て	病後児保育事業	保育所に通所中の児童で、病気の回復期にある安静が必要な児童を、保護者の就労事情により一時的に保育し、子育てと就労を支援する。	市	1,254	1,191	【H25年度実績】 利用者数 のべ11人(実利用人数4人) (H21年度実績) 利用者数 のべ15人(実利用人数6人) (H22年度実績) 利用者数 のべ2人(実利用人数2人) (H23年度実績) 利用者数 のべ18人(実利用人数7人) (H24年度実績) 利用者数 のべ7人(実利用人数2人)		保健福祉部
38	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	木造住宅耐震診断事業	住宅の所有者の求めに応じ、県が認定した岩手県耐震診断士を派遣し、耐震診断を行うことにより、耐震対策を支援する。(事業主体:市・建築士会)	市・建築士会	2,295	1,296	耐震診断実施件数 48件 1,296千円 ※平成25年度までの実績 571件	・制度のPRを強化したことにより前年度より件数は増加したが、引き続き広くPRを行っていく必要がある。	建設部
39	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	木造住宅耐震改修工事助成事業	住宅の所有者が耐震改修工事を行う場合に、その経費の一部を補助し、耐震対策を支援する。(事業主体:所有者)	所有者	30,000	3,000	耐震改修助成件数 4件 3,000千円 ※平成25年度までの実績 89件	・実施件数が伸び悩んでいる。 ・耐震診断実施から耐震改修工事への誘導策を考える必要がある。 ・引き続き制度のPRが必要である。	建設部
40	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	避難所標識整備事業	災害時及び水害時の避難所を周知するため、避難所に標識を設置する。	市	300	299	3ヶ所 299千円		消防本部
41	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	土砂災害ハザードマップ作成事業	土砂災害警戒区域等の情報伝達や警戒避難体制の整備、住民への周知と併せハザードマップを作成する。	市	3,000	2,977	災害に強い安全安心のまちづくりを進めるため、土砂災害警戒・特別警戒指定区域の情報や警戒避難体制を住民へ周知するハザードマップを作成した。 1 土砂災害ハザードマップ作成事業費 (1)土砂災害ハザードマップ作成業務委託料 40か所 1,773千円 一関地区21か所 花泉地区11か所 千厩地区8か所 (2)土砂災害ハザードマップ看板設置業務委託料 22か所 437千円 一関地区9か所 花泉地区5か所 千厩地区8か所 (3)土砂災害危険区域図データ入力更新業務委託料 1件 767千円	土砂災害ハザードマップは、地元住民、自主防災組織、所管の消防署及び消防団、消防本部防災課との共同作業で作成する事業で、今後も継続して行う。 対象住民の把握等非常時の具体的な行動の詳細が詰め切れていない状況にある。 県(砂防災害課)に対し、基礎調査が終了し地元説明会実施済みの箇所の土砂災害警戒区域の指定について、早期に指定するよう働き掛けている。	建設部
42	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	防災行政情報システム整備事業	防災行政無線(同報系)により災害時の情報及び行政情報を市内全域に一斉に伝達するシステムの整備を行う。	市	1,085,818	950,434	平成24年度から平成26年度の継続事業である防災行政情報システム整備を進め、平成25年9月1日よりシステムの一部を運用開始した。 (運次繰越) (1)システム整備工事費 273,105千円 (2)工事監理委託料 2,546千円 (繰越明許費) (1)一関市としての新たな防災無線整備に向け消防本部中継局局舎等建設工事ほかの工事を行った。 (2)建設等工事費 151,129千円 (3)工事監理委託料ほか 11,333千円		消防本部
43	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	4. 防災(治水・治山を含む)	自主防災組織育成事業	地域住民の自主防的防災活動による地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進した。	市	3,725	3,119	1. 自主防災組織結成報奨金 6団体 119千円 2. 自治総合センターコミュニティ補助金 3団体 3,000千円		消防本部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
44	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	消防防災拠点施設(消防庁舎)	本部訓練施設の改修、東山分署及び藤沢分署の移転改築工事を行う。	市	176,724	128,774	・北消防署東山分署建設事業(28,582,250円)用地購入費(繰越明許5,781,000円) ・消防本部庁舎耐震化事業(91,996,175円)実施設計委託(繰越明許2,415,000円)	・継続費である北消防署東山分署建設工事の12月入札が不調となり工事開始が遅れ、25年度の執行率が低くなっている。	消防本部
45	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	消防防災拠点整備事業	消防資機材の保管、災害時の消防団の待機場所及び活動拠点となる消防屯所を整備する。	市	139,649	36,315	(1) 花泉地域 1棟 6,025千円 (2) 大東地域 1棟 4,821千円 (3) 千厩地域 1棟 15,719千円 (4) 東山地域 1棟 646千円 (5) 室根地域 2棟 8,207千円 (6) 川崎地域 1棟 897千円	次の地域の消防屯所建設について、平成26年度へ予算を繰り越した。 (1)花泉:建設場所の協議等に時間を要したため、建設工事費等を繰越。 (2)大東:用地取得、実施設計等に時間を要したため、建設工事費等(2棟)を繰越。 (3)東山:用地取得に時間を要したため、実施設計委託料等を繰越。 (4)室根:入札不調による設計見直しにより、建設工事費等(2棟)を繰越。	消防本部
46	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	防火水槽整備事業	消防水利の充実のため防火水槽を整備する。	市	55,200	51,611	【H25年度実績】 一関地域3基、花泉地域・室根地域各2基、大東地域・東山地域・川崎地域各1基 (H18年度実績)一関地域4基、大東地域2基、室根地域2基 (H19年度実績)一関地域4基、室根地域2基、川崎地域2基 (H20年度実績)一関地域4基 (H21年度実績)一関地域4基、千厩地域1基、室根地域2基 (H22年度実績)一関地域4基、室根地域2基 (H23年度実績)一関地域3基、花泉地域1基 (H24年度実績)一関地域1基、千厩地域1基、室根地域2基		消防本部
47	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	消火栓整備事業	消防水利の充実のため防火水槽を整備する。	市	15,490	15,154	【H25年度実績】 一関地域28基(上水4基、簡水24基)、大東地域簡易2基、千厩地域簡水1基、東山地域簡水2基 参考 (H18年度実績)一関地域33基(上水6基・簡易27基)、大東地域簡水2基、千厩地域簡水4基 (H19年度実績)一関地域33基(上水6基、簡水27基)、大東地域簡水4基 (H20年度実績)一関地域9基(上水5基、簡水4基) (H21年度実績)一関地域10基(上水5基、簡水5基)、千厩地域簡水4基 (H22年度実績)一関地域14基(上水4基、簡水10基)、千厩地域簡水4基 (H23年度実績)一関地域13基(上水3基、簡水10基)、千厩地域簡水6基 (H24年度実績)一関地域24基(上水4基、簡水20基)、千厩地域簡易4基、東山地域簡水3基		消防本部
48	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	婦人消防協力隊活動支援事業	婦人消防協力隊の法被及び帽子のデザインを統一し更新する。	市	6,836	6,835	法被・帯(1,500人分)5,150千円 帽子(1,500人分)1,685千円		消防本部
49	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	5. 消防・救急・救助	命をつなぐプロジェクト事業	中学生を対象に心肺蘇生法の実技学習を実施する。	市	1,841	1,520	心肺蘇生音声誘導器 1,220個 中学校1年生全員に配布 市内小中学校の児童生徒、教職員、PTAなどを対象とした講習会の実施		教育部
50	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	6. 防犯・交通安全・市民相談	防犯灯LED灯具交換事業(民区等管理分補助)	自治会が管理している防犯灯で、LED化していない3,022灯をLED灯具に交換し、消費電力とCO2排出量の削減を図る。(事業主体:行政区等)	行政区等	12,600	12,572	・申請件数:124件 ・交換灯数:333灯	予算の範囲内で各自治会等に配当を行っているため、配当のない自治会等から強い要望が寄せられている。	市民環境部
51	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	6. 防犯・交通安全・市民相談	防犯灯設置事業補助金	防犯灯設置補助の内容を変更し、今後はLED設置のみ補助をする。(事業主体:行政区等)	行政区等	2,720	2,866	・申請件数:58件 ・設置灯数:86灯(電柱添架72灯、ポール14灯)	全額補助でないため、財源のない自治会等での新設は難しい状況となっている。	市民環境部
52	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	6. 防犯・交通安全・市民相談	交通安全施設整備事業	交通安全施設(防護柵、カーブミラー等)を整備する。	市	31,121	31,001	歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 1,238 m 15,898千円 (2) 反射鏡・標識等設置 17 基 2,766千円 (3) 区画線設置 53 路線 7,496千円 (4) 視線誘導標等設置 60 本 683千円 (5) その他交通安全施設 4 か所 1,219千円 (繰越明許費) (1) 防護柵設置 263 m 2,852千円 (2) 反射鏡・標識等設置 1 基 87千円	各地区の要望やPTAの要望及び道路パトロール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。	建設部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
53	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	6. 防犯・交通安全・市民相談	消費生活相談窓口の設置及び消費生活相談員の配置事業	消費生活相談員を本庁と千厩支所に配置し、消費者からの相談窓口として対応する。	市	8,770	8,807	・非常勤特別職員(消費生活相談員)153,900円×12月×4人+通勤割増=7,622,400円 ・資質向上のための研修参加 旅費(盛岡、東京)389,240円(全20回のうち4回東京) ・国民生活センター研修負担金等 12,260円(受講料4回分) ・弁護士による多重債務相談 468,000円/年(12回 26件) ・放射能検出測定器保守委託 315,000円/年 ・相談件数 H23年度:458件、H24年度:471件、H25年度:522件	寄せられる相談件数は、年々増加傾向にあり、また、その内容も多様化・複雑化している(高齢者やインターネットに関するトラブル等)。今後も、社会の変化に伴った様々な消費者トラブルに対処するため相談体制を充実させる必要がある。	市民環境部
54	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	7. 医療	地域医療介護連携推進事業	介護職員の医療に関する正しい知識の習得や医療と介護の密接な連携による「在宅ケア」の向上を図るもの。	市	5,000	4,625	地域の医療資源を有効活用した医療と介護の連携体制の構築を推進するため、連携体制づくり等を促進するとともに、介護関係職員の医療的ケアに関する研修などの実施により、地域における医療と介護の連携を推進した。 1.医療介護連携専門員の設置 1人 2.一関市医療と介護の連携連絡会及び幹事会の開催 7回 3.研修会の開催 6回 4.コミュニティFM番組による啓発 8回(再放送含む) 5.医療と介護の連携マニュアルの作成検討 6.先進地視察の実施		保健福祉部
55	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	7. 医療	医師修学資金貸付事業	医師確保のため、将来医師として、市内の公的医療機関に勤務しようとする者に、修学資金を貸付するもの。	市	18,760	7,200	修学生 2人(平成24年度 1人、平成25年度 1人)		保健福祉部
56	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	7. 医療	研修医研究支援事業	臨床研修医受け入れ促進に向け、研修医の知識の醸成及び地域医療の担い手の育成及び研修環境の整備を図るもの。(事業主体:研修医)	研修医	1,600	1,552	医師会所属臨床研修医の公舎等の備品整備に係る経費に対して補助金を交付した。		保健福祉部
57	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	8. 高齢者福祉	高齢者福祉乗車券交付事業	福祉乗車券交付事業:高齢者などの交通弱者に対し、乗車券を交付する。	市	57,055	34,145	高齢者の社会参加と交流活動の促進及び被災高齢者支援を図るため、バスやタクシー料金の一部を助成した。 (一人あたり1か月1,000円、12,000円が上限) 《対象者》 ・高齢者福祉乗車券は、70歳以上の市民税非課税世帯員で、一人暮らしの方、高齢者のみ世帯に属する方、障がい者用福祉乗車券の交付を受けている方のみ同居している方が対象 ・被災高齢者福祉乗車券は、70歳以上で東日本大震災により、岩手県の沿岸、宮城県の沿岸及び福島県から一関市に避難(市で管理している避難者台帳登録者)し、在宅生活している一人暮らしの方、高齢者のみ世帯に属する方が対象 《交付者数》 3,459人(内被災高齢者27人) 《乗車券利用額》 33,494千円(内被災高齢者160千円)		保健福祉部
58	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	8. 高齢者福祉	高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業	要介護等の高齢者が、在宅で生活するために必要な住宅の改修に対し補助する。(事業主体:対象者)	対象者	12,000	8,300	申請件数 19件 補助件数 19件	県からの補助金(1/2)が縮小傾向にある。	保健福祉部
59	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	9. 健康づくり	自殺対策事業	平成21年度自殺者数が全国ワースト2となった現状を踏まえ、講演会の開催や相談専門員の配置など課題の共有と積極的な自殺予防対策を行うもの。	市	3,328	2,628	県の自殺対策緊急強化事業基金を活用し、自殺予防に関する正しい知識の普及啓発やゲートキーパー研修会等を開催した。 1. 庁内関係課連絡会 1回 2. 普及啓発:市広報掲載、イベント時のポケットティッシュ及びリーフレット等配布 3. 市ホームページにメンタルチェックシステム『こころの体温計』を導入 4. 保健師による健康教育 33回 393人 5. 傾聴ボランティア育成講座の開催 3回 33人 6. ゲートキーパー研修会 12回 535人(対象:区長、民生委員、保健推進委員、高校生、企業) 7. 相談業務の充実 8. 臨床心理士による市民のこころの相談 58回 100人 9. 高齢者のうつスクリーニング 269人 10.産後うつスクリーニング 714人		保健福祉部
60	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	9. 健康づくり	一関保健センター移転整備事業	保健センター他、保健及び福祉関係の複合的な施設を建設するもの。	市	843,543	280,808	一関保健センターの建設等工事及び用地取得を行った。 (現年度予算分) 新一関保健センター建設工事監理業務委託 977千円 新一関保健センター建設(建築)工事 49,744千円 新一関保健センター建設(機械設備)工事 12,000千円 新一関保健センター建設(電気設備)工事 11,604千円 建築確認等申請手数料 481千円 (繰越明許費分) 旧県立磐井病院跡地取得 206,002千円	継続事業となっており、平成25年度予算執行残額は、平成26年度へ逐次繰越とした。 (平成26年度繰越明許分) 外構測量設計業務委託 6,000千円	保健福祉部
61	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	9. 健康づくり	子宮頸がん予防ワクチン接種事業	中学校1年生以上の女子を対象とし、子宮頸がんワクチン接種を行うもの。	市	26,539	5,292	対象者:中学1年生～高校1年生 対象者数:1,650人 接種者数:330人 接種率:20%	平成25年4月より子宮頸がん予防ワクチン接種が定期接種化されたが、平成25年6月14日、国から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の差し控えの勧告が出され、市でも積極的勧奨を差し控えている。(希望者には予診票を交付している。)	保健福祉部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
62	2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり	9. 健康づくり	妊婦一般健康診査事業	妊婦一般健康診査14回、子宮頸がん検診及び妊婦歯科健診1回に対し助成を行うもの。	市	76,926	62,974	妊婦一般健診 対象者数:10,996人 受診者数:9,394人 受診率:85.6% 子宮頸がん検診 対象者数: 769人 受診者数: 731人 受診率:95.1% 妊婦歯科健診 対象者数: 800人 受診者数: 416人 受診率:52.0%		保健福祉部
63	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	1. 生涯学習	花泉地域公民館環境整備事業	油島、花泉、金沢の各公民館にエアコン設備を整備する。	市	590	540	油島公民館事務室エアコン設置工事 270千円 花泉公民館事務室エアコン設置工事 270千円	金沢公民館についてはH26年度実施予定 295千円	教育部
64	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	1. 生涯学習	永井公民館整備事業	現公民館(旧花泉南中学校)の耐震力不足と老朽化のため、新たに公民館を改築整備する。	市	243,100	232,133	永井公民館整備事業費 232,133千円 ・施設管理用等消耗品費 653千円 ・施設確認申請等手数料 101千円 ・工事監理委託料 6,300千円 ・建築等工事費 220,314千円 ・施設用備品購入費 4,765千円	H26年度へ繰越明許 外構工事:永井公民館建設(建築)工事の請負契約締結時期が、労務や機械単価の上昇などの変動による予算補正とその後入札不調が加わり、当初計画に比し大幅に遅延したため、当該工事の完成時期が年度末となった。このため、外構工事の必要工期が確保できず、年度内完成が困難となったため 24,358千円 太陽光発電:太陽光発電設備接続検討に関して東北電力側に申し込んでいるが、導入者の急増などの社会現象によりその回答が未だない状況であり、その後の契約事務及び検査が当初見込みより遅延することから、年度内の工事完成が困難となったため 910千円	教育部
65	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	1. 生涯学習	新一関図書館整備事業	新一関図書館を移転改築し、中央図書館機能を有する図書館を整備する。	市	2,103,692	1,916,888	支出額:1,916,888千円 ・新一関図書館整備計画委員会 2回開催 ・光熱水費 2,231千円 ・新一関図書館工事監理委託 56,700千円 ・その他委託料 9,892千円 ・新一関図書館建設工事完了検査等手数料 920千円 ・市有物件災害共済保険料 80千円 ・新一関図書館建設(建築・電気・機械)工事(競技場解体工事含む)1,465,060千円 ・新一関図書館建設(昇降機設備)工事 31,395千円 ・太陽光発電設備設置工事【繰越明許】 契約額:95,025千円 支出額 77,594千円 ・外構工事【繰越明許】 契約額:77,481千円 支出額27,426千円 ・その他工事 5件 5,948千円 ・駐車場借上料 2,880千円 ・図書館用備品(木金混合、木製、スチール製書架) 197,347千円 ・図書館用備品(閲覧椅子、図書用品、事務用机等) 25,534千円 ・図書館用備品(サイン) 13,881千円	太陽光発電設備工事において、余剰電力の売電にかかる連携系統について東北電力との協議に時間を要し、工期を延長し繰越事業とした。	教育部
66	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	1. 生涯学習	花泉図書館整備事業	花泉図書館を建設する。	市	72,040	301,654	【H25年度実績】支出額 354,145千円 【繰越明許】 301,654千円 ○工事監理委託料 15,120千円 ○建築工事費 286,534千円 1. 工事費19,569千円 (1)駐車場等工事16,164千円 (2)地域イントラネット工事714千円 (3)館内LAN配線工事 439千円 (4)その他工事5件2,252千円 2. 備品購入費等 25,755千円 (1)図書館用備品(閲覧机等)7,266千円 (2)図書館用備品(可動式書架等)6,993千円 (3)図書館用備品(書架サイン等)4,830千円 (4)図書館用備品(会議用机等)4,694千円 (5)その他図書館用備品1,972千円 3.その他 7,167千円 (1)事務補助員賃金 3,836千円 (2)事務用品費 2,009千円 (3)パンフレット等印刷費 523千円 (4)完了検査手数料 73千円 (5)資料等搬送委託料 726千円		教育部
67	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	1. 生涯学習	図書館資料ICタグ導入事業	図書館の貸出しシステム及び蔵書管理の効率化を図るため、図書の識別用にICタグを導入する。	市	12,317	12,088	○図書館用ICタグ購入費 12,088千円 図書館ICタグ(白タグ)374,000枚 図書館ICタグ(透明タグ)2,000枚		教育部
68	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	教育立市プラン事業	教育立市を目指し、教育相談員、特別支援コーディネーター、学校サポーター、学習指導専門員、学びの支援員、適応支援相談員、読書普及員の配置や中学生の社会体験学習事業等を実施する。	市	166,061	156,206	【H25年度実績】 学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員19人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター2人、学校サポーター33人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員11人の配置ほか (H22年度実績) 学習指導専門員4人、教育相談員4人、こたばの力を育てる指導員3人、読書普及員7人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター2人、学校サポーター21人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員7人の配置ほか (H23年度実績) 学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員12人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター24人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員7人の配置ほか (H24年度実績) 学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員15人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター29人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員8人の配置ほか	・学校サポーター、幼稚園きめ細かな指導支援員について、学校、幼稚園から支援を必要とする児童生徒、園児対応のため増員を要望されている。 ・特別支援コーディネーターなど職種によっては専門的な業務内容となることから、公募等での適任者の確保が困難となってきている。	教育部



整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
69	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	中学生最先端科学体験研修事業	中学生を対象とし、科学技術に関する国の機関等が集積する筑波学園都市での体験的な研修を実施する。	市	2,309	2,190	1. 研修対象者 市内中学3年生 60人 2. 研修期間 平成25年8月7日(水)～8月9日(金) 3. 研修場所 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター-JAXA 高エネルギー加速器研究機構 国土地理院 地図と測量の科学館		教育部
70	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	地域学習冊子作成事業	各地域の学校・学区の歴史・記念物・自慢となる情報を、学校・児童生徒・地域住民が発掘し、編集して冊子を製作する。	市	2,051	1,848	【H25年度実績】 第4集「学校と地域の昔と今」 (H22～24年度実績) 第1集「学校のお宝紹介」 第2集「地域探検隊～発見！ 私たちのすばらしい地域～」 第3集「わたしたちが受けつぐ地域の行事・伝統芸能」 冊子1,100部、ポスターを250枚発行し、学校、公民館等に配布。	・平成27年度で完了(第6集)	教育部
71	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	山目小学校校舎改築事業	震災により甚大な被害を受けた校舎を改築する。	市	760,923	260,060	(現年度予算分) 1. 手数料 328千円 校舎建設に係る確認申請手数料、適合判定手数料 2. 委託料 372千円 工事監理業務委託(継続費)H25契約分16,380千円 H25支払額 0千円 薬品廃棄処分等委託 372千円 3. 賃借料 10,395千円 仮設校舎賃貸借に伴う事務手数料 4. 工事費 校舎建設工事(継続費)H25契約分 677,208千円 H25前金払額 206,600千円 暖房設備移設等工事 10,550千円 (繰越明許費分) 山目小学校校舎改築に伴う仮設校舎設置工事 31,815千円 山目小学校校舎は、S47～50年に建築し、築後40年近く経過している建物である。 耐震調査の結果、耐震性能が低く補強が必要であることから耐震補強と大規模改修による整備を計画したが、東日本大震災により大規模な被害を受け、被害が広範囲に及んでいることから計画を見直し全面改築を行うこととし、H24年度実施設計を実施し、H25,26年度の2ヶ年で建設工事を行うもの。		教育部
72	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	大東小学校整備事業	摺沢小、渋民小、曾慶小の3校を統合し新たに小学校を整備する。	市	273,000	197,041	1. 手数料 289千円 プール建設に係る確認申請手数料、適合判定手数料 2. 委託料 プール建設工事監理業務委託 7,770千円 3. 工事費 188,982千円 (1) プール建設(建築)工事 116,063千円 (2) プール建設(機械設備)工事22,589千円 (3) プール建設(電気設備)工事 5,269千円 (4) 屋外環境整備工事(前払い) 43,200千円 (5) その他工事 3件 1,861千円	平成25年度事業完了予定であったが、建設事情の悪化により、グラウンドと外構工事を一部繰越工事とした。 繰越明許費(26年度へ繰越予算) 工事費 75,146千円 (1) 屋外環境整備工事(完成払い) (2) 屋外倉庫建設工事 5月20日に屋外環境整備工事が完了し、運動会は新しいグラウンドで開催できた。 7月13日に落成式を挙げる。	教育部
73	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	磐井中学校校舎改築事業	山目中学校、中里中学校の統合に向け、現在の山目中学校の改築工事を実施する。	市	533,918	239,986	1. 委託料 9,001千円 (1) 校舎建設工事監理業務委託 3,000千円 (2) 進入路測量設計業務委託 3,928千円 (3) 正面通路歩道設置測量設計業務委託 496千円 (4) その他委託料 10件 1,577千円 2. 工事費 160,967千円 (1) 校舎建設(建築)工事 98,280千円 (2) 校舎建設(機械設備)工事 30,000千円 (3) 校舎建設(電気設備)工事 12,000千円 (4) 正面通路歩道設置等工事 9,994千円 (5) 仮設校舎改修等工事 8,290千円 (6) 光ケーブル敷設等工事 2,264千円 (7) その他工事 2件 139千円 3. その他 70,018千円 (1) 仮設校舎賃貸借料 67,413千円 (2) 建築確認申請等手数料 1,403千円 (3) 物件移転補償費 1件 524千円 (4) その他事務費等 678千円	継続事業となっており、平成25年度予算執行残額は、H26へ通次繰越とした。	教育部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
74	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	桜町中学校校舎(特別教室棟)耐震補強事業	校舎の耐震補強工事を実施する。	市	3,800	605	1. 手数料 227千円 耐震診断評価手数料 2. 委託料 378千円 耐震診断評価取得業務委託料 特別教室棟は、S36年度建設の木造校舎で、耐震診断の結果耐震性が低く、老朽化が著しことから、耐震補強工事を実施する計画としており、H25年度に耐震補強工事実施設計業務委託を予定していたが、今後の校舎の利用計画等を想定した場合、耐震工事に加え、大幅な改修の必要性も考えられることから、耐震補強計画を取り止め、改築工事に計画変更したことから、補助事業申請に必要な耐震診断評価取得業務委託を行ったもの。		教育部
75	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	東山中学校校舎耐震補強・大規模改修事業	校舎の耐震補強工事等を実施する。	市	393,032	388,262	1. 役務費 360千円 (1) 建築確認申請手数料 144千円 (2) 耐震判定手数料 216千円 2. 委託料 17,084千円 (1) 校舎棟改築工事監理業務委託 9,765千円 (2) 管理棟大規模改修等工事実施設計業務委託 7,231千円 (3) その他委託料 88千円 3. 使用料及び賃借料 11,274千円 仮設校舎賃貸借 4. 工事費 359,544千円 (1) 普通教室棟(建築)工事 252,000千円 (2) 普通教室棟(電気設備)工事 69,251千円 (3) 普通教室棟(機械設備)工事 36,740千円 (4) その他工事2件 1,553千円		教育部
76	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	(仮称)西部第2学校給食センター整備事業	西部学校給食センター北側に1,000食規模の西部第2給食センターを整備する。	市	17,136	1,208	1. 委託料 1,208千円 地質調査業務委託	厨房機器の動力選定に時間を要したことにより、実施設計の履行期間延長が必要となり、平成26年度へ繰越した。	教育部
77	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関	旧千厩学校給食センター解体撤去事業	学校敷地を有効的に活用するため、施設を解体する。	市	800	740	1. 委託料 740千円 解体工事実施設計業務委託	解体工事実施設計は行ったが、再検討し、解体せず倉庫利用することとした。	教育部
78	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	3. 青少年の健全育成	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業	児童の健全育成を図るため、スポーツ選手を小学校に夢先生として招聘し、夢を持つことの大切さ等を伝える授業を行う。	市	765	760	平成22年度から実施 1回3教室×3回 年間9教室開催 ◎実施校:(一関地域):舞川小、中里小、南小、本寺小(花泉地域):永井小、清津小、油島小、金沢小(大東地域):曾慶小、大原小、興田小(千厩地域):千厩小、清田小、磐清水小(東山地域):長坂小、田河津小、松川小(室根地域):室根東小、室根西小(川崎地域):門崎小、薄衣小(藤沢地域):藤沢小 ◎夢先生 千葉真子(元マラソン日本代表)、川上直子(元なでしこジャパン)、式田高義(元Jリーガー) 金子勇樹(元Jリーガー)、前田治(元サッカー日本代表)、森山泰行(元Jリーガー)、福永泰(元Jリーガー)、遠藤彰弘(元サッカー日本代表)、水沼貴史(元サッカー日本代表)、都築龍太(元サッカー日本代表)、波戸康広(元サッカー日本代表)		教育部
79	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	4. 文化・芸術・スポーツ・レクリエーション	第71回国民体育大会選手強化指導者育成助成事業	選手強化、指導者育成の取り組みを支援する。(事業主体:体育協会)	一関市体育協会	1,088	1,088	一関市体育協会が加盟協会を対象に実施している選手強化・指導者育成事業に対し助成(1/2補助)助成事業費 2,814千円(市補助金1,088千円、体育協会負担金1,726千円) 選手強化 7競技団体、11事業 指導者育成 3競技団体、3事業 (参考) H23 選手強化 :4競技団体、6事業 指導者育成:3競技団体、3事業 H24 選手強化 :6競技団体、6事業 指導者育成 :4競技団体、4事業		教育部
80	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	4. 文化・芸術・スポーツ・レクリエーション	スポーツ合宿招聘事業	高等教育機関のスポーツ部の合宿を招聘するため、交通費を助成する。	市	1,600	982	1. 招聘を希望する競技種目(H28団体種目であるバスケットボール、バレーボール、フェンシング)のインカレ上位大学に補助制度を周知した。 2. 今後は、加えて市内競技団体等を通して、競技力の高い学校の招聘について模索する。 【H25年度実績】 ・市立松戸高等学校男子バスケットボール部 20人(延べ宿泊数138泊) ・市立松戸高等学校女子バスケットボール部 19人(延べ宿泊数190泊) ・流通経済大学付属柏高等学校陸上部 33人(延べ宿泊数330泊)		教育部
81	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	6. 文化財の保護・地域文化の伝承	市内埋蔵文化財保存管理業務	市内埋蔵文化財の発掘調査を実施する。	市	3,189	3,188	(1) 周知の埋蔵文化財包蔵地における試掘調査(2件) (2) 周知の埋蔵文化財包蔵地における工事立会(5件) (3) 周知の埋蔵文化財包蔵地に対する照会回答(361件) (4) 埋蔵文化財発掘届出・通知(14件)	当市の埋蔵文化財専門職(学芸員)は1人。世界遺産拡張登録に係る史跡調査と市内開発等に係る埋蔵文化財業務に従事している。史跡調査と埋文業務が重複しているため、1人では広範な市域の開発事業に対応しきれない。	教育部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
82	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	6. 文化財の保護・地域文化の伝承	古文書等資料調査事業	市内に所蔵されている古文書等の資料を整理し、目録をデータベース化する。	市	5,869	3,351	1. 古文書既調査資料の目録化、未整理資料の整理を行った。 (1) 仙台藩東山南方大肝入白石家文書(一関市千厩町) (2) 塩屋佐藤家文書(一関市大町) 2. 美術関係資料の整理調査とカード化、関連情報の収集・集積を行った。 (1) 佐藤紫煙関係資料のデータ入力 (2) 一関ゆかりの美術・工芸家についての調査 千葉雲洞、長沼守敬、白石隆一、佐藤祥吉、伊藤國男等の文献調査と情報集積		教育部
83	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	6. 文化財の保護・地域文化の伝承	郷土芸能活動事業補助金	郷土芸能活動を支援するための補助金を交付する。(事業主体:団体)	団体	2,000	859	7団体に859千円支出。 (内訳)①岩手県南宮城県北神楽大会(厳美大会) 50千円 ②岩手県南宮城県北選抜神楽花泉大会 145千円 ③行山流鹿踊交流会 510千円 ④岩ノ下獅子舞保存会 19千円 ⑤行山流大木鹿踊保存会 19千円 ⑥白浜神楽会 30千円 ⑦京津畑神楽保存会 86千円 【参考】H24実績 6団体に634千円支出。H23実績 5団体に1,081千円支出。	【問題・課題】 ・財団等が実施する類似補助事業が複数あり、併せて助成制度を案内しているが、高齢化、後継者不足により、郷土芸能活動を行うことが困難となっている団体がある。 【対応状況】 ・団体の意向を確認しながら、他助成制度も含め事業案内を行う。 ・団体の状況把握調査を行い、重要なものについては保存、保護のため文化財指定を進め、活動の支援を行う。	教育部
84	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	7. 平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園遺跡確認調査事業	骨寺村荘園遺跡内の梅木田遺跡等の調査を実施する。	市	22,144	21,986	(1) 骨寺村荘園遺跡確認調査事業(白山社及び駒形根神社、梅木田遺跡、伝ミタケ堂跡) (2) 骨寺村荘園遺跡確認調査報告書の刊行(300部) (3) 骨寺村荘園遺跡調査概要リーフレットの刊行(5,000部) (4) 骨寺村荘園遺跡調査報告会の開催(1回、参加者70人) (5) 骨寺村荘園遺跡現地説明会の開催(1回、参加20人)	拡張登録に係る史跡調査は24年度から5カ年計画で実施している。29年度に推薦書作成の可否を判断する国際専門家会議が予定されている。その後、有識者、文化庁、県教委の判断で推薦書が作成される見込みであり、それまでは重点的調査が必要。なお、国史跡でもある骨寺村荘園遺跡は世界遺産登録の可否に関わらず継続した調査が必要である。	教育部
85	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	7. 平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	文化的景観保護推進事業(重要建物修理修景事業)	本寺地区にある重要文化的景観を構成する重要建物の修理・修景を支援する。	市	5,253	5,215	【H25年度実績】設計 1棟 工事2棟 (H19～25年度実績) 設計46棟3,550千円、工事40棟、56,682千円 (工事実績内訳) H19年=3棟、H20=12棟、H21=5棟、H22=12棟、H23=5棟、H24=1棟 H25=2棟	建物の経年劣化の状況や、資力の関係により年度ごとに事業規模の増減が予想されるが、主だった重要建物の修理修景等がなされたことにより、ここ数年の事業実施棟数は減少傾向にある。	教育部
86	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	7. 平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園遺跡活用事業	パンフレットの作成や骨寺村荘園の保存交流活動を通じての保全管理体制の確立、遊休水田復田等の景観維持活動に対し助成等を行うもの。	市	2,880	2,277	骨寺村荘園遺跡の保全と活用のための事業を行った。 1. 骨寺村荘園遺跡指導委員会の開催(2回) 2. 骨寺村荘園遺跡パンフレット(中世の風景・散策マップ)の作成 3. 景観保全作業等業務委託 (1) 農村景観維持保全活動(春季・秋季土路整備作業) (2) 骨寺村荘園遺跡内市道除草作業 (3) 小区圃水田保全交流活動(学習田田植え・稲刈り体験交流) (4) 骨寺村荘園若井原駐車場・山王窟駐車場管理業務	骨寺村荘園遺跡と重要文化的景観に選定されている農村景観を保護・活用していくためには、地域住民が主体的に景観保護に取り組むとともに、農産物販売や郷土料理の提供などを通して地域営農を継続させていく必要がある。 また、景観的に特に貴重とされている小区圃水田の保全管理体制の確立が課題となっており、地権者、地域住民とともに作業部会を開催し、保全活用方針策定作業を進めている。	教育部
87	3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり	7. 平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護	骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業	骨寺村荘園遺跡の早期の拡張登録実現を目指し、関係機関・団体と拡張登録推薦事務を進めるもの。	市	3,686	3,356	骨寺村荘園遺跡の世界遺産拡張登録に向けて関係業務を行った。 1. 世界遺産拡張登録検討委員会出席 2. 「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究集会開催(参加者 75人) 3. 海外・国内類似資産調査(中国ラサ・和歌山根来寺ほか) 4. JR一ノ関駅屋上看板広告・新幹線ホーム壁面広告掲出 5. 骨寺村荘園遺跡講演会開催(参加者 約165人)	有識者委員会等から、拡張推薦のための調査研究不足が指摘されており、岩手県及び関係市町では、平成25年度から29年度までの5か年間で平泉に関する基礎的な調査研究と、個別資産(骨寺村荘園遺跡ほか)の調査研究を集中的に実施し、拡張推薦のための資産価値を明らかにすることとしている。	教育部
88	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	1. 都市間交流・国際交流	国際交流推進事業	市民による国際交流活動を支援するため、国際交流団体に対し補助する。(事業主体:市・団体等)	市・団体等	1,493	1,154	市民の国際理解と多文化共生の促進を図るため、各地域の国際交流団体の活動に対して、補助を行った。 国際交流補助金 一関国際交流協会 300千円 ゆうの会 80千円 千厩町国際友好協会 120千円 東山国際交流協会 34千円 むろね国際交流クラブ 173千円 川崎21世紀国際交流クラブ 180千円 藤沢町国際交流協会 267千円		市民環境部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
89	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	2. 道路	市道矢ノ目沢金沢線・清水原一関線道路改良事業	市道矢ノ目沢金沢線及び市道清水原一関線を改良整備する。	市	(現年度) 596,321 (繰越明許費) 89,748	(現年度) 280,982 (繰越明許費) 89,729	(清水原一関線) 1. 測量等委託料 6件 7,207千円 2. 道路改良等工事費 4件 256,087千円 (1) 道路改良(第8工区)工事 91,586千円 L= 420.0m 工期 平成25年7月8日～平成26年3月24日 (2) 道路改良(第7工区)工事 132,355千円 L= 425.0m 工期 平成25年7月8日～平成26年3月28日 (3) 道路改良(第9工区)工事 31,500千円 ※契約額78,750千円のうち47,250千円は繰越 (4) その他道路改良工事 1件 646千円 3. 用地等購入費 6件 6,626千円 4. 物件移転等補償費 18件 11,062千円 (繰越明許費分) 1. 測量等委託料 2件 365千円 2. 道路改良等工事費 (1) 道路改良(第6工区)工事 89,364千円 L= 242.5m 工期 平成25年4月11日～平成25年12月20日	(課題) 平成24年度からの繰越明許は、立木伐採の作業計画等に時間を要したため繰り越したものの。 (対応状況) 立木伐採が完了し、平成25年度において工事実施した。 (課題) 国道342号交差点付近に42名の共有地があり土地取得について難航している。 (対応状況) 平成26年度の共用開始を目指しているが、取得が困難な場合は交差点部が暫定改良となる可能性がある。 (課題) 掘削土の土質が悪く、盛土材に流用するための土質改良が必要である。工事費が増大している。 (対応状況) セメント安定処理、購入土利用等にて対応している。事業費について精査する。 (課題) 震災復興・経済対策によりダンプ等の重機不足、作業員不足が懸念される。 (対応状況) 仕事量の平準化を図るため早期発注や繰越発注などにより調整をする。	建設部
90	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	2. 道路	山目駅前釣山線(竹山工区)道路改良事業	岩手県が実施する山目駅前釣山線(竹山工区)道路整備事業に対して事業費の一部を負担する。(事業主体:県)	県	1,839	859	(県委託事業) ・道路改良県事業負担金 239千円 ・事務費 620千円 (繰越明許費) ・用地購入 5件、261.27㎡ 12,058千円 ・物件移転補償費 5件 50,803千円		建設部
91	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	2. 道路	市道中駒場線道路改良事業	市道広域千厩線から千厩中学校を經由し県立千厩病院を結ぶ基幹道路を整備する。	市	(現年度) 49,792 (繰越明許費) 64,691	(現年度) 864 (繰越明許費) 64,690	1. 物件移転等補償費 2件 864千円 (繰越明許費)地域元元臨時交付金事業 1. 道路改良工事費 道路改良工事(H25年度出来高払) 50,000千円 (全体契約額 88,349千円) (繰越明許費) 1. 測量等委託料 2件 4,470千円 2. 道路改良工事費 道路改良工事(H25年度出来高払) 7,571千円 (全体契約額 88,349千円) 3. 物件移転等補償費 3件 2,649千円	(課題) 平成24年度からの繰越明許は、土地所有者との測量設計協議に時間を要したため繰り越したものの。 (対応状況) 土地所有者との測量設計協議が整い、平成25年度において工事実施した。	建設部
92	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	2. 道路	市道松川駅館下線道路改良事業	松川地区の県道東山薄衣線のバイパスを整備する。	市	(現年度) 101,554 (繰越明許費) 178,500	(繰越明許費) 118,087	(繰越明許費分) 1. 測量等委託料 3件 2,086千円 2. 道路改良工事費 道路改良工事 115,877千円 L= 814.4m 工期 平成25年4月10日～平成26年2月18日 3. 用地購入費 1件 19千円 4. 物件移転等補償費 2件 105千円	(課題) H24年度からの繰越明許は、用地補償交渉に不測の時間を要したため繰り越したものの。 (対応状況) 引き続き、未相続の地権者に対し用地交渉を続けている。 (課題) 平成25年7月26日の豪雨で砂鉄川堤防が越水したことにより、計画の見直しが必要になった。 (対応状況) 今回の水害で終点部が冠水することが判明したことから、終点部の計画を見直すことにした。	建設部
93	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	4. 地域情報化	テレビ共同受信組合運営費等補助事業	共同で設置しているテレビ共同受信施設の老朽化に伴う修繕費補助。また、施設維持にかかる運営費に対する補助。	市	32,894	9,653	【平成25年度実績】 無線システム普及事業費補助金(1組合)5,728千円 テレビ共同受信施設維持管理費補助金(60組合)3,925千円 (繰越明許費) 無線システム普及事業費補助金(1組合)31,928千円	1. 老朽化に伴う修繕費補助で、改修の仕様や交付基準を明確にする必要がある。 2. 老朽化施設改修費は高額であり、組合員の減少・高齢化が進むなかでは、組合単独で改修事業を行うのは困難である。国・県等の補助事業もないため、継続的に要望している。	企画振興部
94	4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり	5. 地域づくり活動	いちのせき元気な地域づくり事業	地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色ある地域づくりのための事業を行う。	市	103,367	70,174	総事業数128事業 70,174千円 (内訳) 一 関地域 19事業 11,378千円 花泉地域 14事業 10,294千円 大東地域 13事業 6,914千円 千厩地域 9事業 10,039千円 東山地域 18事業 5,520千円 室根地域 21事業 10,193千円 川崎地域 20事業 8,274千円 藤沢地域 14事業 6,954千円 (広域事業 4事業 2,177千円) ※広域事業は総事業数に含まず。 懇談組織研修等 609千円		市民環境部
95	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	3. 公園・都市緑化	磐井川かわづり整備事業(磐井川堤防改修事業)	磐井川堤防改修に伴い、河川緑地帯などの整備を実施する。	市	4,300	3,800	・磐井川堤防改修に伴い、磐井川緑地公園を再整備するための基本構想策定事業を発注。 1式 3,150千円 ・磐井川堤防改修に伴う桜並木の復元を考える会の磐井川堤防桜植樹事業を支援した。 1式 650千円		建設部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
96	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	3. 公園・都市緑化	街区公園整備事業	公園遊具の維持・修繕・更新等を行い、安全性の確保と、施設機能の維持を推進する。	市	4,000	3,320	・中央町児童公園他9公園ベンチ16基更新、磐井川緑地他2公園危険遊具7基撤去。		建設部
97	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	4. 低炭素社会	地球温暖化対策推進事業(広報・啓発事業)	一関地球温暖化対策地域協議会が発行する温暖化対策に係る広報啓発事業等への補助及び温暖化対策事業を行う。(事業主体:市・協議会)	市・協議会	781	781	事業主体:一関地球温暖化対策地域協議会 ○広報発行事業補助(年2回発行) ○環境セミナー ○再生可能エネルギー施設見学会 ○太陽光発電導入者「生の声を聞く会」 ○「IPCC第5次報告書」学習会	一関地球温暖化対策地域協議会の財政基盤が確立していないため(会費で運営)、事業費の確保が困難な状況であり、引き続き支援が必要。	市民環境部
98	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	4. 低炭素社会	新エネルギー等導入事業費補助事業	地球温暖化対策のため、環境負荷の少ない新エネルギー及び省エネルギー設備の導入について補助する。(事業主体:設置者)	設置者	25,377	24,023	1. 太陽光発電システム補助金額…H22:10千円/kW、H23～:20千円/kW 補助条件…国の補助金交付を受けること、市内業者と契約等を行って設置すること。 【H25年度】交付件数…117件・交付金額…11,538千円 ・設置出力合計…578.74kw(平均出力:4.95kw)平均単価1kw当:430,826円(H26.6.20現在 20件 平均出力5.22kw、平均単価1kw当:386,379円) 【H24年度】交付件数…118件・交付金額…11,362千円 ・設置出力合計…570.15kW(平均出力:4.83kW)平均単価1kW当:479,867円 【H23年度】交付件数…47件・交付金額…3,554千円 ・設置出力合計…220.60kW(平均出力:4.69kW)平均単価1kW当:527,857円 【H22年度】交付件数…29件・交付金額…1,288千円 ・設置出力合計…129.86kW(平均出力:4.48kW)平均単価1kW当:556,467円  2. 住宅用高効率給湯器等補助金 【H25年度】交付件数…347件・交付金額…交付金額12,485,000円 (エコキュート123件:6,133,000円、エコフィール180件:5,296,000円、エコジョーズ44件:1,056,000円) 【H24年度】交付件数…145件・交付金額…交付金額5,880千円 (エコキュート83件:4,133千円、エコフィール49件:1,430千円、エコジョーズ13件:317千円)	1. 家庭用太陽光発電システムに対する、国の補助金は25年度をもって終了したが、新エネルギー導入推進を図るため、引き続き実施する。 2. 高効率給湯器等設置については、更新時には高効率の機種を導入することが一般化してきており普及促進との目的は達したと判断しH25年度をもって終了とした。	市民環境部
99	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	6. 住環境・市営住宅・景観	緊急経済対策住宅リフォーム助成事業	建築後10年を経過した施設を対象とし、市内施工業者を利用したりホーム工事を行う場合に経費の一部を補助する。(事業主体:所有者)	所有者	17,100	15,017	【平成25年度実績】 交付件数 179件(リフォームのみ177件、耐震改修併用2件) 助成額 15,017千円  (平成24年度実績) 交付件数 177件(リフォームのみ169件、耐震改修併用8件) 助成額 15,058千円 (平成23年度実績) 交付件数 448件(リフォームのみ422件、耐震改修併用26件) 助成額 40,417千円	・平成26年度をもって終了予定であるため、制度のPRを強化する必要がある。 ・緊急経済対策事業としての一定の成果が図られた。	建設部
100	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	6. 住環境・市営住宅・景観	景観形成事業	一関市景観計画及び本寺地区景観計画に基づき、景観計画を生かした魅力ある地域づくりを進める。(事業主体:市等)	市等	4,168	1,249	1. 本寺地区景観計画による届出行為等に関する条例に係る届出行為の受理を行った。 (1)届出件数 2件 (2)通知件数 2件 2. 一関市景観まちづくり条例による届出行為等の受理を行った。 (1)届出件数 51件 (2)通知件数 26件 3. 本寺地区景観審議会の開催 なし 4. 一関市景観審議会の開催 1回 5. 本寺地区景観形成事業補助金 伝統的農家建築物の修理または修景に要する費用の一部を補助した。 1件 1,000千円(緑越明許費):2054千円		建設部
101	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	6. 住環境・市営住宅・景観	みんなで地域の景観まちづくり	景観まちづくりに資する住民主体組織の景観形成活動に対して事業費の一部を補助する。(事業主体:景観まちづくり団体)	景観まちづくり団体	3,000	872	一関市景観まちづくり事業補助金 景観まちづくりに寄与する活動に要する費用の一部を補助した。 3件 872千円		建設部
102	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	厳美・萩荘簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	260,140	166,046	配水管布設工 φ50～100 L=5,741m (緑越明許分:15,599千円)	・国庫補助事業はH26で完了 ・道路橋新設に伴う添架配水管の移設をH27に実施予定	上下水道部
103	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	舞川簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	276,090	265,728	配水管布設工 φ50～75 L=11,654m 中島ポンプ場外構工事 1式 (緑越明許分:61,010千円)	・舞川地区に隣接した東山町長平地区の拡張要望があることから、H26に事業変更認可を取得し、道路改良工事とあわせてH27に配水管整備を計画している。	上下水道部
104	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	大原簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	66,000	59,454	送水管布設工 φ100 L=498m 配水管布設工 φ50～100 L=1,524m 認可変更業務委託 1式	・給水要望があった横道・暮坪地区の拡張認可をH25に取得し、H26から事業に着手。	上下水道部
105	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	摺沢簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	505,000	436,064	摺沢浄水場建設 1式 配水管布設工 φ50～150 L=273m	・クリプト対策として膜ろ過による浄水設備を、摺沢浄水場にあつてはH25に整備し、洪民浄水場はH27及びH28に建設する予定である。	上下水道部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
106	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	興田・猿沢簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	426,970	409,606	送水管布設工 φ75 L=164m 配水管布設工 φ50~150 L=15,331m 中川浄水場外構工事 1式	・認可区域内における未整備地区の配水管布設を進めているが、接続率の向上を図るため各地区の水道利用組合設立が図られている。	上下水道部
107	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	摺沢第2簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	6,700	5,925	配水管布設工 φ50 L=220m	・渇水期に水量が不足することから、隣接する磐清水・奥玉・小梨簡易水道からの給水を検討している。 ・H28に管路整備をおこない経営統合後に施設の廃止を考えている。	上下水道部
108	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	197,350	197,296	配水管布設工 φ50~150 L=11,143m 舗装復旧工 1式	・接続率が低かったことから、水道利用組合の設立支援や融資あっせん制度の活用を働きかけ一定の成果ができた。	上下水道部
109	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	田河津簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	80,600	69,081	配水管布設工 φ50~75 L=2,761m 送水管布設工 φ40 L=563m	・H25に補助事業は完了した。 ・老朽管の更新及び水道未普及地域である矢ノ森地区の整備を検討する必要がある。	上下水道部
110	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	折壁簡易水道事業(配水管布設)	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	21,740	20,310	配水管布設工 φ75~150 L=696m	・室根バイパス西側に新設される産直施設及びトイレ施設への給水方法が課題となっている。	上下水道部
111	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	川崎簡易水道事業	簡易水道を新設し、水道未普及地域の解消を図る。	市	13,000	11,284	配水管布設工 φ50~100 L=468m 加圧ポンプ更新 1式	・クリプト対策としてH26及びH27に川崎浄水場を建設し膜ろ過設備を設置する予定である。	上下水道部
112	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	7. 上水道	折壁簡易水道事業(水源調査)	室根地域における水道未普及地域の解消を図るため、水源調査を実施する。	市	14,000	13,397	基本計画策定及び水源調査 1式	・水道未普及地域も含めた室根地域全体の水道整備の基本計画を策定したが、多額の費用を要することから水道企業会計の枠内では事業実施が難しい。	上下水道部
113	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	磐井川流域関連一関公共下水道事業(流域建設事業)	○全体計画 計画区域面積 2108ha (内一関1,783ha) 計画処理人口 50,200人 (内一関46,000人)(事業主体:県)	県	60,132	83,025	1. 業務委託 30,754千円 磐井川流域関連一関公共下水道釜ヶ淵地区他設計業務委託ほか9件 2. 工事費 945,286千円 磐井川流域関連一関公共下水道山目幹線他枝線工事ほか21件 L=9,187.7m 公共ます設置工事等55件 3. 補償費 17,107千円 磐井川流域関連一関公共下水道才天地区枝線工事に伴う配水管移設補償ほか7件 (繰越明許費) 磐井川流域関連一関公共下水道才天地区枝線工事ほか6件 105,586千円	今後、一関地域の下水道整備計画区域の見直しを実施予定。	上下水道部
114	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	磐井川流域関連一関公共下水道事業	○全体計画 面積1,783ha 処理人口46,000人	市	1,119,326	1,105,584	1. 工事費 124,786千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)清水地区他枝線その2工事ほか4件 L=697.6m 公共ます設置工事8件 2. 補償費 1,633千円 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)清水地区枝線その3工事に伴う配水管移設工事(繰越明許費) 一関市特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)南金里地区枝線工事 9,188千円	花泉処理区の整備は、H26年度で概ね終了する見込。	上下水道部
115	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	特定環境保全公共下水道事業(花泉処理区)	○全体計画 面積155ha 処理人口4,000人	市	110,458	135,728	1. 業務委託 18,644千円 一関市公共下水道(千厩処理区)四日町地区他設計業務委託ほか5件 2. 工事費 50,707千円 一関市公共下水道(千厩処理区)西小田地区枝線その1工事ほか1件 L=441.2m 公共ます設置工事 1件 3. 補償費 7,820千円 一関市公共下水道(千厩処理区)北方地区枝線その5工事に伴う配水管移設工事(繰越明許費) 1. 業務委託 11,453千円 一関公共下水道(千厩処理区)神ノ田地区他設計業務委託 2. 工事費 28,466千円 一関公共下水道(千厩処理区)梅田地区他舗装復旧工事		上下水道部
116	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	公共下水道事業(千厩処理区)	○全体計画 面積241ha 処理人口5,200人	市	126,900	119,720	1. 業務委託 18,644千円 一関市公共下水道(千厩処理区)四日町地区他設計業務委託ほか5件 2. 工事費 50,707千円 一関市公共下水道(千厩処理区)西小田地区枝線その1工事ほか1件 L=441.2m 公共ます設置工事 1件 3. 補償費 7,820千円 一関市公共下水道(千厩処理区)北方地区枝線その5工事に伴う配水管移設工事(繰越明許費) 1. 業務委託 11,453千円 一関公共下水道(千厩処理区)神ノ田地区他設計業務委託 2. 工事費 28,466千円 一関公共下水道(千厩処理区)梅田地区他舗装復旧工事		上下水道部

整理No.	まちづくりの目標	施策項目	事業名称	事業の概要	事業主体	H25予算額	H25決算額(実績額)	H25年度実績及び参考事項	事業実施における問題・課題及び対応状況	担当部
117	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	浄化槽設置整備事業(個人設置型)	個人が設置する浄化槽の設置費用の一部を助成する。	市	172,120	170,593	生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、一関136基、花泉40基、千厩45基、室根21基、藤沢32基 計274基に対し補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 274基 (5人槽 90基、7人槽 179基、10人槽5基) H25年度末の総設置基数 4,946基		上下水道部
118	5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり	8. 下水道	浄化槽設置整備事業(市設置型)	市が設置主体となり住宅に浄化槽を設置する。	市	86,771	50,364	快適な生活環境の整備と河川の水質保全を図るため、下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外の地域を対象に39基(大東23基、東山7基、川崎9基)を整備した。 (5人槽 12基、7人槽27基、10人槽0基) H25年度末の設置基数は寄附採納基数を含め1,150基 (大東659基、東山276基、川崎215基)	市設置型による浄化槽整備は、平成27年度で終了予定。 (個人設置型に統一)	上下水道部